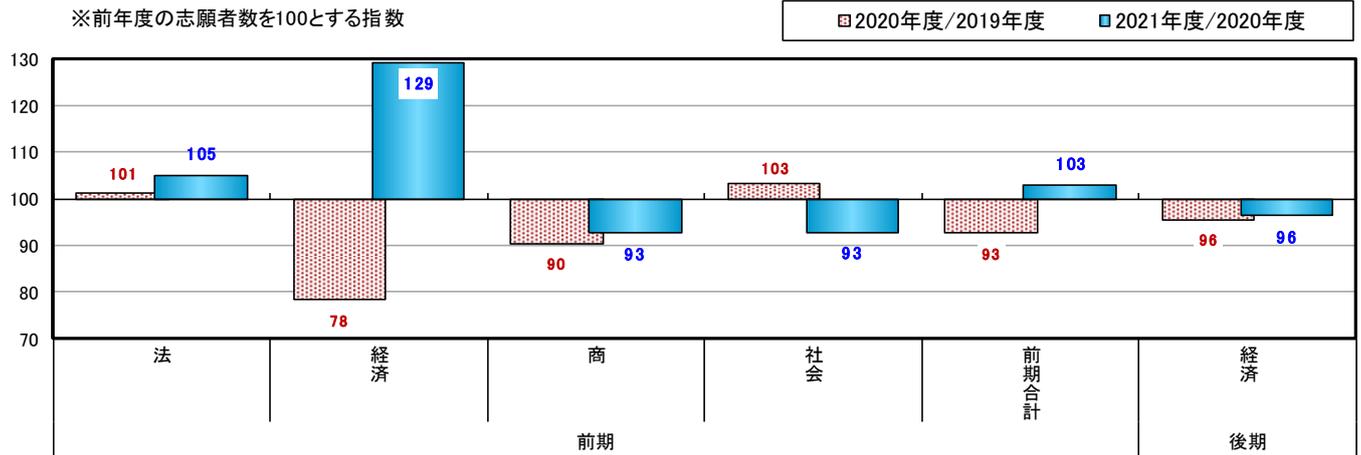


2021 年度入試状況分析【国公立大】

一橋大：前期は3年ぶりにやや増加、後期は4年連続減少

前期：+74人 後期：-39人



入試変更点 出願方法：紙の願書での出願→インターネット出願

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は74人(103)のやや増加で3年ぶりの増加。後期は39人(96)のやや減少で経済のみの募集となった2018年度以降4年連続減少、経済のみでも3年連続減少。ハイレベルな競争が敬遠されている。なお、第1段階選抜が実施され、合格率は74.8%だった。

<前期日程>

- 法(105)は、前年度の微増の引き続き、やや増加。
- 経済(129)は、2年連続減少の反動で大幅増加。志願者数も700人に迫る人数となった。
- 商(93)は、やや減少して2年連続減少。2004年度以来の700人を下回る志願者数となった。
- 社会(93)は、やや減少。2014年度以降、前年度の反動による増減が継続。
- 第1段階選抜は、法と経済で実施され、合格率は法が91.9%と緩かったが、経済は84.2%と厳しかった。